

はじめに

チェルノブイリ原発事故が起きてから昨年4月で20年が経過した。原発で大事故が起きたらどんなことになるかの実例として、この20年間私は、原子力専門家の立場からチェルノブイリのことを調べてきた。当初、チェルノブイリ事故を解明するとは、どのような事故経過でどれだけの放射能が放出され、どんな汚染が起きて人々がどれだけ被曝し、どれだけの健康影響が出るかを評価することだと思っていた。事故の10年後くらいから、そうした「専門家的アプローチ」で捉えられることは、チェルノブイリが人々にもたらした厄災の限られた側面でしかない、ということ強く意識するようになった。私のような専門家的アプローチは、苦しみ、悲しみ、怨念といった、人々にとってもっとも肝心なところをすっぽりと捨象したところではか成り立たないからである。

20年になるのを機会に、自分の専門的な枠を越え、ジャーナリスト、支援運動家などさまざまな人々の視点からみた「チェルノブイリ」をまとめてみたいと考えた。さまざまな「チェルノブイリ」をいろいろなやり方で重ね合わせてみることによって、また新たな「チェルノブイリ」が見えてくると考えたからである。個人的なネットワークを中心に共同研究チームを作りトヨタ財団に研究助成を申請したところ、幸いにして採択された(2004年11月～2006年10月：700万円)。

本報告書は、2年間の共同研究で得られた成果をまとめたものである。チェルノブイリに関する資料はたくさんあるが、さまざまな視点からのチェルノブイリということで、ユニークなものに仕上がったと思っている。チェルノブイリを知らない若い人々、また改めてチェルノブイリについて考えてみたいと思っている方々の参考になれば幸いである。

共同研究メンバーに加えて、多くの方々に原稿を作って頂いた。研究助成を頂いたトヨタ財団ならびにお世話になった多くの方々に感謝する。

2007年3月 今中 哲二

<共同研究メンバー>

今中 哲二 (代表)	京都大学原子炉実験所
広河 隆一	Days Japan 編集部
菅谷 昭	チェルノブイリ医療基金、松本市市長
小出 裕章	京都大学原子炉実験所
北和田 修介	チェルノブイリ医療基金
向井 雪子	チェルノブイリ子ども基金
辰巳 雅子	日本文化センター、チロ基金(ミンスク在住)
菅 聖子	フリーランスライター
神尾 京子	(株)カタログハウス 編集部
渡辺 美紀子	原子力資料情報室
星 正治	広島大学原爆放射線医科学研究所
TYKHYY Volodymyr	ウクライナ科学アカデミー・サイバネティックス研究所
MALKO Mikhail	ベラルーシ科学アカデミー・原子力合同研究所
STRELTSOV Dmitri	ロシア科学アカデミー・東洋研究所日本センター
SHCHERBAK Yuri	旧ソ連最高会議員、元ウクライナ環境大臣

チェルノブイリ原発事故の実相解明への多角的アプローチ — 20 年を機会とする事故被害のまとめ —

はじめに

何が起きたのか	今中哲二	1
チェルノブイリ報告の 20 年	広河隆一	15
すばらしいプリピャチの町での暮らしと、チェルノブイリの もたらした不幸、原発事故と私たちの人生の破局について	タマーラ・ディーカヤ	23
母のもとに六人残った	エレーナ・メリニチェンコ	29
キエフ州ポリスケ市の終焉	ボロジーミル・ティーヒー	32
2005 年 チェルノブイリ・春	菅 聖子	36
チェルノブイリ事故による遺伝影響についての長期的研究	ゲンナジー・ラジューク、佐藤幸男	55
チェルノブイリ原発事故の放射線被曝による DNA 反復配列の 突然変異を指標とした継世代的影響研究	振津かつみ	61
北スウェーデンでのガン発生率増加はチェルノブイリ事故が原因か？	マーチン・トンデル	73
チェルノブイリ原発事故による死者の数	今中哲二	77
2005 年夏：ヒロシマの被ばく者笹森恵子さんが チェルノブイリ被ばく者、ナターシャさんに会いに行く	菅 聖子	85
チェルノブイリ子ども基金の活動を通して	向井雪子	91
放射能汚染地域での活動を通じて	北島理恵	101
ベラルーシの歴史と文化	辰巳雅子	111
チェルノブイリの回想	ヴィクトル・ガイダク	129
私の人生の試練	アンナ・コストルィギナ	136
ぼくの町へ帰りたい	マクシム・パシコフ	142
チェルノブイリ被災者の慈善市民団体『ゼムリャキ』の活動 ...	タマーラ・クラシツカヤ	144
チェルノブイリー文明への警告	ユーリ・シチェルバク	148
チェルノブイリの放射能と向かい合った市民の活動	渡辺美紀子	162
日本の新聞は『4・26』をどう伝えてきたか： マス・メディアにとってのチェルノブイリ	伊藤 宏	170
チェルノブイリ事故地震原因説の分析	ニコライ・カルパン	186
チェルノブイリ事故の被害調査に終わりはない	今中哲二	198
付録1 「これを語るのは私の義務・・・」	ヴァレリー・レガソフ	209
付録2 隠れた犠牲者たち.....	ウラジーミル・ルパンディン	218
付録3 ウクライナ KGB 文書抜粋 ほか		222
おわりに		227

- 写真：イーゴリ・コスティン、挿絵：チェルノブイリ子ども基金 -